

令和元年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	子ども発達支援部会	部会長・担当者	徳久 央子(防府市なかよし園)
-----	-----------	---------	-----------------

メンバー:加ハセセンター、なかよし園、支援センター、防府総合支援学校、地域コーディネーター、はなのうら、つぐみ防府、つぐみ右田、アンジュ、たいよう、ひまわり、たんぽぽ、てだのふあ、あゆみの里、りぷらす、放課後りぷらす、jump、キャパス、楽さん家、華の浦相談、ほのぼの相談室、事業団ホームヘルプセンター、学校教育課、健康増進課、子育て支援課、障害福祉課、子ども家庭支援センター海北

テーマ：～すみなれた防府市でより安心して暮らしていくために～
発達支援が必要な児のライフステージに応じて、途切れない支援をしていく

長期目標	関係機関が地域課題を把握し、解決に向けて取り組む 発達支援が必要な児が、ライフステージ（乳児期→幼児期→学童期→思春期→青年期）に応じた必要な支援を受けながら、地域で暮らすための体制づくり
令和元年度の目標	○関係機関の連携維持・強化 ○部会員の資質向上（成人期に向けた療育・支援について把握） ※療育・支援の検討に向け、各関係機関（行政、教育、相談支援事業所、サービス提供機関）で共有した基盤を作る。
課題	○ライフステージに応じた必要な支援を受けるために、各ステージでの必要な支援とは何か知ることによって途切れない支援の体制基盤が作れるのではないかと。 ○事業所職員の入れ変わりの多い中で、部会員の資質の向上を目指すためにはどうすればよいか、検討していく。
活動内容	○定例会の開催（年４回） ・第１回 子ども発達支援部会（研修会） 日時：６月２１日（金）１０時～１２時 場所：防府市役所 １号館 ３階南北会議室 内容：児童虐待に関する国の動向と対応について 講師：山崎 貴子（子育て支援課こども相談室） ・第２回 子ども発達支援部会（研修会） 日時：９月２０日（金）１０時～１２時 場所：防府市役所 １号館 ３階南北会議室 内容：障害者支援施設に関する情報を共有しよう！～今後の支援に活かすために～ 事前に事業所単位で市内の障害福祉サービス事業所(就労継続支援事業所、生活介護など)へ 15 か所に施設見学を実施。 事業所ごとに発表し、グループワーク。

・第3回 子ども発達支援部会（研修会）

日時：11月8日（金）9時半～12時

場所：防府市役所 1号館 3階南北会議室

内容：演題「子どもの味方になろう！」

講師：川間 弘子（やまぐち発達臨床支援センター理事長）

・第4回 子ども発達支援部会（研修会）

日時：1月25日（金）10時～12時

場所：防府市役所 1号館 3階南北会議室

内容：現在感じている課題について話し合おう（グループワーク）

○企画会議の開催等

・コアメンバー打ち合わせ…6回

・研修講師との打ち合わせ…1回

○その他・気づき

児童虐待の研修では実際の対応の講話で事業所としてどのように対応していけばいいか具体的に考える機会となり各事業所での研修内容や対応等の意見交換ができた。また途切れない支援を考えると将来利用するであろう障害者施設の見学をできたのは良かった。

コロナ禍の影響で研修も充分行えない状況だが、今後も部会員の資質向上を目指しながら関係機関の連携維持、強化を図っていかれたらと思う。

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	子ども発達支援部会	部会長・担当者	徳久 央子（防府市なかよし園）
-----	-----------	---------	-----------------

メンバー：なかよし園、はなのうら、つぐみ防府、つぐみ右田、アンジュ、たいよう、ひまわり、たんぽぽ、てだのふあ、あゆみの里、りぶらす、放課後りぶらす、jump、キャパス、みらくる楽さん家、ミライエ楽さん家、フィールド、加ハートセンター、華の浦相談、ほのぼの相談室、支援センター、防府総合支援学校、地域コーディネーター、事業団体ハルパセンター、子ども家庭支援センター海北、学校教育課、健康増進課、子育て支援課、障害福祉課

テーマ：～すみなれた防府市でより安心して暮らしていくために～

発達支援が必要な児のライフステージに応じて、途切れない支援をしていく

長期目標	関係機関が地域課題を把握し、解決に向けて取り組む 発達支援が必要な児が、ライフステージ（乳児期→幼児期→学童期→思春期→青年期）に応じた必要な支援を受けながら、地域で暮らすための体制づくり
今年度の目標	○関係機関の連携維持・強化 ○部会員の資質向上 ※療育・支援の検討に向け、各関係機関（行政、教育、相談支援事業所、サービス提供機関）で共有した基盤を作る。
課題	○ライフステージに応じた必要な支援を受けるために、各ステージでの必要な支援を教育と福祉等との連携で途切れない支援の体制を検討する。 ○事業所職員の入れ変わりの多い中で、部会員の資質の向上を目指すためにはどうすればよいか。
活動内容（予定）	○定例会の開催（年2回） 例年、年4回研修を実施しているが新型コロナ感染予防のため実施回数、参加者を減らして実施予定。 ・第1回目 10月16日（金）…障害児に関わる、教育制度の仕組みについて（講話・グループワーク） ・第2回目 1月17日（金）…今年度の振り返りと来年度に向けて（グループワーク） ○企画会議の開催（随時） ・定例会の準備

令和元年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	研修部会	部会長・担当者	あおぞら 山田 正寛
-----	------	---------	------------

メンバー:

副部会長…突貫(華の浦)

企画委員…埴本(はあと) 家永(アンジュ) 伊勢本(ふれんず) 福田(みらくる 楽さん家) 藤田(ケアプランセンター えびすや)

内田(防府市社会福祉協議会) 田村(コロニーキャンパス)

アドバイザー…竹原(夢サポート相談所) 津田(夢かれん) 古谷(三田尻訪問看護ステーション) 沖井(ゆうあい)

部会員…各事業所から1名参加

テーマ：一人で悩んでいる人がいない防府市

長期目標	サービス提供職員全体の資質向上
平成30年度の目標	・他部会や事業所間のネットワーク作り ・事例検討を通じて、部会員及び各事業所のスキルアップ ・研修企画を通じて、各事業所のネットワーク作り ・地域の課題を元にした防府研修の企画・運営
課題	・事例検討の周知及び参加率の向上 ・誰でも質問や発言ができる雰囲気作り ・地域で困っていることを元にした研修作り
活動内容	※事例検討会(部会員全員参加) ・年3回開催 →6/19 8/21 11/2 (対象月の第三金曜日) ※研修企画(研修企画委員のみ参加) ・A班・B班に分かれて企画を行う。 ○A班…9/20(金)開催の防府研修を企画 - テーマ：認めることの大切さ - 研修目的：自己肯定感を持ってもらうことの大切さ、その人が持つ人権と権利について学ぶ - 講師：いわかね社会福祉士事務所 岩金 俊允 様 - 参加人数：59名

活
動
内
容

講義を行いながらグループにてロールプレイを行う。

OB 班…2/21(金)開催の山口・防府ケアマネジメント研修を企画

テーマ：支援者が変わってもその人の人生はつながっている

児から者へつながるアセスメント

研修目的：演習を通じて幼児・学齢期と成人期のアセスメントのつながりを学ぶ

講師：山口県発達障害者支援センター 岡村 隆弘様

参加人数：山口市…24 名 防府市…35 名

講義をして頂いたのちに事例を元にグループワークを行い、意思決定に必要な支援を学んだ。

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	研修部会	部会長・担当者	山田 正寛（あおぞら）
-----	------	---------	-------------

メンバー:

副部会長…突貫(華の浦)

企画委員…家永(アンジュ) 伊勢本(ふれんず) 福田(みらくる 楽さん家) 藤田(ケアプランセンター えびすや) 内田(防府市社会福祉協議会)

アドバイザー…竹原(夢サポート相談所) 津田(夢かれん) 古谷(三田尻訪問看護ステーション) 沖井(ゆうあい)

部会員…市内事業所から1名参加

テーマ：一人で悩んでいる人がいない防府市	
長期目標	サービス提供職員全体の資質向上
今年度の目標	・他部会や事業所間のネットワーク作り ・事例検討を通じて、部会員及び各事業所のスキルアップ ・研修企画を通じて、各事業所のネットワーク作り ・地域の課題を元にした防府研修の企画・運営
課題	・事例検討会の周知及び参加率の向上 ・誰でも質問や発言ができる雰囲気作り ・地域で困っていることを元にした研修作り
活動内容(予定)	※事例検討 開催日時については検討中。少なくとも年度内に1回は開催を予定。 開催方法により事例検討の手法は検討する。 ※研修企画 基本リモート会議にて開催。 研修会については、YouTube やビデオ等、録画可能な媒体を用いて開催する。 ※企画会議 リモートにて開催。 日程については、各事業所の予定を考慮し開催する。 ○今年度は新型コロナウイルス防止の観点から、基本的にはリモート会議を用いる。 開催日時等は各事業所からアンケートをとり、参加可能事業所が多い方法を用いる。

令和元年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会実績報告～

部会名	就労支援部会	部会長・担当者	能野伸治（心促福祉作業センター）
-----	--------	---------	------------------

メンバー:

クローバーセンター、デパール、防府総合支援学校、心促福祉作業センター、ふれんず、コロニー協会、愛光園、あおぞら、夢かれん、はあと、かりん、防府商工会議所、丸久、防府若者サポートステーション、ハローワーク防府、防府市障害福祉課

テーマ：働く意欲のある人が「頑張って働こう！」と思える職場がある防府	
長期目標	＜一般就労＞・障害者雇用の企業が増える ・働く障害者の力が発揮できる。 ＜福祉就労＞・工賃が最低賃金に少しでも近づく。 ・働く意欲のある障害者が活躍できる場所がある。
今年度の目標	＜一般就労＞・企業・関係機関との繋がりが強くなり、広がる。 ・障害者雇用実践企業を支える。 ＜福祉就労＞・福祉就労施設が主体となる連絡会が出来る。 ・各就労施設の生産活動収入がアップする。
課題	＜一般就労＞・障害者雇用の理解。 ・求人企業と求職者のマッチング。 ＜福祉就労＞・市内事業所の平均工賃額が県平均工賃を下回っている。 ・市内就労施設間の連携・交流があまりない。
活動実績	＜執行部＞・年6回の活動 ・企業部と福祉部の活動細部の調整。 ＜企業部＞・年7回の活動 ・企業の学校見学・懇談会の開催（10/4、防府総合支援学校） ＜内容＞学校見学、企業・支援機関の意見交換　＊雇用検討企業対象 ＜人数＞参加企業6社（8名）全23名 ・雇用企業向けセミナー、コロナの為に開催中止（3/12 商工会議所） ＜内容＞事例発表、企業同士の意見交換　＊雇用実績企業対象 ＜人数＞企業参加予定13社（17名）全28名 ＜福祉部＞・年7回の活動 ・部会の開催場所をそれぞれの事業所で行い、事業所見学も実施。 ＜内容＞支援に関する事、職員のスキルアップ、連携、工賃向上 ＜場所＞コロニー（6/13）、あおぞら（8/8）、愛光園（10/10） ・施設職員を対象にした学校見学会の実施（1/24、防府総合支援学校） ＜内容＞学校見学、学校・事業所職員の意見交換 ＜人数＞参加事業所9（16名）全22名　＊就労事業所等

令和2年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動計画～

部会名	就労支援部会	部会長・担当者	能野伸治（心促福祉作業センター）
-----	--------	---------	------------------

メンバー:

クローバーセンター、デパール、防府総合支援学校、心促福祉作業センター、ふれんず、コロニー協会、愛光園、あおぞら、夢かれん、はあと、防府商工会議所、丸久、防府若者サポートステーション、ハローワーク防府、防府市障害福祉課

テーマ:

働く意欲のある人が「頑張って働こう!」と思える職場がある防府

長期目標	<一般就労> * 障害者雇用の企業が増える * 働く障害者の力が発揮できる。 <福祉就労> * 工賃が最低賃金に少しでも近づく。 * 働く意欲のある障害者が活躍できる場所がある。
今年度の目標	<一般就労> * コロナ禍による障害者雇用の課題を把握し、協議会として取り組めることを考える。 <福祉就労> * コロナ禍による福祉的就労の課題を把握し、協議会として取り組めることを考える。
課題	<一般就労> * コロナ禍による雇用情勢の変化（求人の減少、雇い止めなど） <福祉就労> * コロナ禍による作業活動の減少、施設受け入れの対応など
活動内容（予定）	* 課題別に『企業部（一般就労）』『福祉部（福祉就労）』にメンバーが分かれて活動し、それぞれに抱える課題解決に向けて取り組む。また、各部の取り組みをまとめる『執行部（全体）』を設置し全体の調整を行う。 <企業部> * 年間2～3回の活動予定 * コロナ禍による障害者雇用の課題をまとめる。 * 今年度、対外的な活動（見学、セミナー等）は中止。 <福祉部> * 年間2～3回の活動予定。 * コロナ禍による施設運営の課題抽出と対応の協議。 * 今年度、対外的な活動（見学会等）は中止。

令和元年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会活動実績～

部会名	保護者サークル・団体連絡会	部会長・担当者	白石（ゆめサポート相談所）
メンバー：めばえ友の会・防府市肢体不自由児父母の会・手をつなぐ育成会・くるみの会 親父の会・ひめりんごの会・アップルクラブ・山口県自閉症協会防府分室 ポプリの会・わかくさ園保護者会・障害福祉課・ゆめサポート相談所			
テーマ：保護者も当事者もきょうだいも家族みんなが困らない社会を目指して			
長期目標	・みんなの不安を考えていき、何が必要なのかを考える。		
令和元年度の目標	①成年後見制度について理解や連携促進 ②障害年金について理解促進		
課題			
活動内容	◆第1回定例会 令和元年5月14日（火） 会場：身体障害者福祉センター ・本年度の取り組みとして、成年後見と障害年金の2枚看板で。 ・成年後見については、防府市成年後見制度利用促進検討会に声を届けることと、市民後見に関する周知徹底を図っていくことに。 ・障害年金については、社会保険労務士さんによる講演や先輩家族の体験談が聞ける勉強会の開催を来年度に目指し、協議していくことに。 ◆第2回定例会 令和元年7月9日（火） 会場：身体障害者福祉センター ・成年後見については、本人に相応しい候補者をどう選ぶか・どんな人が適しているのか・市民後見がなぜ有用かについて等々、「成年後見制度利用促進検討会」にどう意見や要望を届けていくかについて情報共有や検討を行う。 ・“親亡き後”の課題や不安は大きいですが、成年後見と障害年金という2大テーマの両方を同時展開で協議するのはなかなか困難。時間配分の工夫など、次回への検討課題とすることに。		

◆第3回定例会 令和元年9月10日（火） 会場：身体障害者福祉センター

- ・主に時間配分について協議。成年後見と障害年金の2大テーマで大変だが、どちらも大切。会員の年代層によっては切羽詰まってなかったりもするが、いざという時の為に情報は知っておきたい。どちらかに主軸を置いて話していくことになるだろうが、今後もこれまで通りのフリートークでやっていこう、ということに。
- ・また、「年金生活者支援給付金」の手続きについて、家族も情報を知らなかったし、独居の場合など本人一人では大変だし、あれでは不親切。親亡き後という観点からは、郵便物の整理、特に大事なものが捨てられたり、スルーされたりが想定され、心配という声が挙がる

◆第4回定例会 令和元年11月12日（火） 会場：身体障害者福祉センター

- ・今回は主に、障害福祉版のロコミ MAP 作成の為にロコミの募集があるとの話から、議論百出の状態となる。結局、諸々難しいと、ロコミも集まらず。
- ・成年後見については、市民後見人の育成・管理の話題を中心に、社協や山口市の実情もからめながら、意見が出される勉強会開催時の役割分担の確認等を行う。

◆第5回定例会 令和2年1月14日（火） 会場：身体障害者福祉センター

- ・参加メンバーが少なく、フリートークでの情報交換となる。
18歳成人になるにあたって、年金制度の確認や支援学校での役割、取り組みについて等々、今後の課題や情報提供について話す。

◆第6回定例会 →新型コロナの状況で開催中止となる。

令和 2 年度 防府市地域総合支援協議会 ～部会計画～

部会名	保護者サークル・団体連絡会	部会長・担当者	白石（ゆめサポート相談所）
メンバー：めばえ友の会・防府市肢体不自由児父母の会・手をつなぐ育成会・くるみの会 親父の会・ひめりんごの会・アップルクラブ・山口県自閉症協会防府分室 ポプリの会・わかくさ園保護者会・障害福祉課・ゆめサポート相談所			
テーマ：保護者も当事者もきょうだいも、家族みんなが困らない社会を目指して			
長期目標	・みんなの不安を考えていき、何が必要なのかを考える。 ・当事者に近い、親の意見・要望を集約して届けていく為にも、部会員が増えるといい。長く参加されていない団体にも改めて参加を呼び掛けていくし、各団体の会員がどうすれば増えるかについても協議できると良い。		
今年度の目標	① 新型コロナの状況下において、どう保護者サークルを開催していくか、その方法を模索すること ② 成年後見制度について理解や連携促進		
課題	・当事者本人の団体が防府に無いこと。 ・部会の参加団体が減っていること。各団体それぞれの会員自体が減っていたり、高齢化があること。		
活動内容（予定）	・第1回目の定例会 令和2年7月14日（火） 会場：身体障害者福祉センター →今年度の取り組みについて、各団体からの状況報告。 「障害年金についての研修会」は、新型コロナの影響により中止とすることに。 ※以降、奇数月の第二火曜日に定例会を実施予定。 ① 新型コロナの状況下において、（身体障害者福祉センターが利用できない等、集まらない時に）どう保護者サークルを開催していくか、その方法を模索すること ・リモート会議等の方法について検討する 例えば、機材を持たぬ会員であっても、機材の貸し出し等があれば、リモート会議に参加できると思われるので、そういった方策を検討する。 （→ちなみに市の運営会議では、機材の準備は困難との回答であった） ② 成年後見制度についての理解や連携促進 (1) 防府市成年後見制度利用促進検討会に声を届ける ・各団体サークルから要望や課題を吸い上げ、集約したものを伝える ・情報共有を行いつつ、必要に応じて意見を提言する ※ただし、この検討会の開催についても新型コロナの状況次第の由 ③ 情報共有		

